

主力大型株主導で最高値更新が迫る日本株

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 株高の好循環が整いつつある日本株

日本株の先高観が強まっています。23日の東京株式市場で、日経平均株価は一時36,984円まで上昇し、37,000円の大台に迫る場面もありました。デフレ脱却や企業改革の進展といった、日本の経済と企業の構造が大転換するとの期待が高まっていることが、日本株の見直しにつながっていると考えられます。

日本はバブル崩壊後、経済の低迷が長らく続いたこともあり、日本株全体の動きを示すTOPIXも冴えない展開が継続してきました。ただ足元では、ようやく日本の名目GDPが過去最高を更新し、拡大基調に入りつつあるなど、持続的な「経済拡大→業績拡大→株価上昇」という好循環を生みやすい状況が整ってきました（右上図）。経済規模に続き株価も最高値更新となれば、日本の投資家の自信につながり、日本株を再評価する動きが強まりやすくなるとみられます。

ポイント② トップ15社のうち10社が最高値更新

売上高や利益などの企業業績は、インフレ調整前の「名目」の数字のため、名目GDPが拡大基調にあることは、日本企業の持続的な業績の押し上げや株価上昇をサポートすることにつながります。

経済や企業の構造転換を背景に、日本の時価総額トップ15社のうち、今年に入り最高値を更新した企業数は10社に上っており、こうした動きが他の企業にも波及するかが、日本株の最高値更新のカギを握ります（右下図）。東京証券取引所の上場企業に対する改革要請によって、日本の企業は変化を迫られる環境となっています。「変わる企業は買われる」、「変わらない企業は買われない」との意識が一段と企業に浸透していけば、日本株の最高値更新は現実のものとなってきそうです。

TOPIX（東証株価指数）と日本の名目GDP（国内総生産）



期間：(TOPIX) 1984年3月末～2024年1月23日、四半期
(日本の名目GDP) 1984年1-3月期～2023年7-9月期、四半期
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

日本株の時価総額トップ15社の中で2024年に入り最高値を更新した企業

時価総額順位	銘柄名	時価総額順位	銘柄名
1	トヨタ自動車 (7203)	10	三菱商事 (8058)
6	東京エレクトロン (8035)	11	日立製作所 (6501)
7	ファーストリテイリング (9983)	12	任天堂 (7974)
8	信越化学工業 (4063)	13	伊藤忠商事 (8001)
9	KDDI (9433)	15	オリエンタルランド (4661)

・時価総額順位は2024年1月23日時点
・カッコ内は証券コード
(出所) 日本経済新聞社、QUICKより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。